

さくやん
の
プロフィール



左が実物で、右がアバターですが、似てるかな？（笑

さくやんの簡単なプロフィールです。

出身地：宮城県

現住所：三重県

趣味：魚釣り（釣り歴20年以上）

あるコミュニティで初心者向けの無料レポートやフェイスブックについて音声対談をさせていただいております。

音声対談で話していないこともメルマガで解説したり、僕の考え方をお伝えしていますので、メルマガもお楽しみください。

1970年12月仙台市で産れました。

幼少の頃から活発で動き回ることが大好きな子供
だったと母から聞いています。

~~~~ 小学生時代 ~~~~

小学2年の時に、宮城県から三重県に父親の仕事の関係で
転校してきました。

走ることが大好きな僕は、転校早々にクラスで一番走るのが
速い子に勝負を挑みました。

結果、負けましたが、これがきっかけで
一気にクラスに溶け込みました。

この年の冬に2回目の、転校。。。。。

マラソン大会がすぐであり、
ゴール直前で相手を抜き去り、1位でゴール！！

この結果から、またもやクラスに溶け込んでいきました。

5年生になるとスポーツ少年団に入団
6年生の時は、エースピッチャーとして活躍し、
県大会にも出場していました。

~~~~ 中学生時代 ~~~~

走るのが好きな僕は、
中学では迷わず陸上部へ入りました。

しかし、初めて見たある競技の虜になりました。

それは、**棒高跳び**です。

人気の種目というわけではありませんが
人間が高く飛べるというところに魅力を感じ
すぐにキャプテンに希望を提出。
3年間を棒高跳びに費やすことになりました。

しかし、3年生の先輩と2人だけだったので
先輩が卒業してからは、一人で練習していきまし。
最初はなかなか実績がでませんでした。
それでも毎日の朝練は、一人で基礎練習を続けました。

競技を知らない人や他の部からは、

「それ、何やってんの？」

「カッコわる～」

「そんなんで、勝てんの？」

「ジャマなんで、余所でやって！」 etc

など、アスリートにとって心無い言葉を
浴びせられたこともありますし、
わざと聞こえるように言う人もいました。

でも、諦めるわけにはいかないので
ひたすら基礎練習を続けてきました。

その努力は3年生で一気に爆発！

各大会で、お立ち台で表彰を受け、
地区大会は、余裕で通過！

夏休み前までには、みんなが黙り始め

そして、周りを納得の結果を手に入れます。

標準記録を突破し、

憧れの全国大会に出場も果たしました。

このとき、バレー部の主将に（当時のバレー部は、三重県でもトップレベルで、学校も注目していました）

「おまえは、基礎練サボらんと毎日積み重ねてきたもんな！
全国行くのようわかるわ。」と言われたのを覚えています。

～～～ 高校生&専門学校時代 ～～～

中学からの実績で高校も陸上を続けるつもりでいました。
三重県でもトップの高校から推薦もいただき、（男子・女子ともユース日本代表も輩出している高校です）その高校に進学するつもりでしたが、父親との解釈の違いでどうしても理解が得られず、同級生も信じられない結果となる、普通の学校へ入学。

高校では、クラブをせずに帰宅部でした。
僕の実績を知っている陸上部の顧問の先生からも誘いを受けたのですが丁寧にお断りしました。

そして、専門学校に進みましたが、一人暮らしで自由な生活を満喫？し、学校にも行かない状態になり、毎晩のように飲みに行ったり、当時流行ったカラオケボックスに入りびたりになりました。（笑

当然のように、呼び出され辞めるか？自宅から通うか？の選択を迫られ自宅通いになりました。

まあ、他には特に何もない平凡な生活でした！

～～～ 社会人時代 ～～～

モーター製造（P社）やSE（サービスエンジニア）として
シ●●プで装置メンテなどを引き受けていましたが、

幼少の頃より大好きな釣りを仕事にと、
26才に思い切って釣具店に転職を決意しました。
特に、ルアー釣りの世界にどっぷりとハマり、
ローカルのトーナメントにも出場し、腕を磨いていました。

あっ、もちろん結婚もして2人の子供にも恵まれました。。。。。

しかし、、、
ほとんど家族は放りっぱなし状態です。

仕事も朝8時半頃に店に到着
夜は10時が当たり前の生活で、
休みの日になると夜明け前から釣りに行く始末！

ほんと釣り三昧の生活を送っていました。

ところが、**突然、人生の転機**がやってきます。

思わぬところで、
左足の膝を複雑骨折してしまうのです。

骨折した当時、
今まで通りに歩けなくなる可能性
が、あるということでした。

約3か月会社を休み、治療に専念していましたが
脚は言うことを聞いてくれません。

でも

会社からは、出勤しろ！

と言われ、松葉杖を突きながらの出勤でした。

立ちっぱなしの仕事なので足がムクれ上がって
パンパンに腫れていましたが
それから約2か月は杖を突きながらの
仕事とリハビリの日々が続きました。

持ち前の負けん気で、リハビリも懸命に励みました。
(曲がらない足を曲げるのは、メッチャつらいことだと知りました)

この頃から、

「俺、これからどうなるんだろう？」

「足が痛みだしたら、

仕事も自主退職みたいになっていくんだろうか？」

などの不安が押し寄せるようになってきました。

また、現場のメンバーを守るために、
上司に苦言を呈してきた僕を
よく思っていない上司がいることは確かだし。

結果を求められている立場なのに、お客様を減らしたり（怒らせたり）
売り上げをさらに悪くした人物が本社で昇進していくありさまは
先のことを考えさせられる状態になりました。

現在は一日約15～16時間は、会社のために使う時間
になっているので、自分の時間があまりに無さすぎることに
気づき始めました。

笑える時間、

ゆとりある時間、

子供たちとの会話をする時間

大切な人と接する時間

を欲するようになってきたのです。

そして、これまで苦勞を掛けた嫁様と一緒に

ゆっくり **日本の温泉めぐり旅行に行く夢**を持っています。

この気持ちが強くなり、ネットビジネスの世界に
身を投じていくことを決意し、

夢を叶えたく新たな行動を起こしています。

私と同じように

時間に追われている人、自分の時間を見失っている人に、

自由な時間と夢を与えられるように、

自分の時間が少なくても、やれば必ず成功するんだ！

というあきらめない気持ちと実績を作れるように
行動していきます。

現在は、ネットを通じて仲間になったメンバーと
初心者向けの無料レポート作成やフェイスブックについて対談を
録音し、まだ、狭い範囲ですが公開しています。

これは、手始めですが、もっといろいろな企画を考え行動して
いこうと計画しています。

同じように感じている人、賛同してくれる人をサポートしたり
もしくは一緒に行動していけるメンバーをみつけ、一緒に行動を
していければ最高だと感じています。

そして、会社に頼らず、
自分の力で生きていく方法を伝えていきたいです。

おわりに

さくやんのプロフィールを最後まで読んで頂いて
ありがとうございます。

このレポートには、僕のこれまでの人生を書かせていただきました。
それは、レポートを読んでもくれた、あなたに僕のことも
もっと知って欲しかったからです。

そして、前を向いて歩きだしたい人と共に歩いていきたいです。
何かのきっかけを掴みたい方、またネットビジネスを知りたい
と感じたら、気軽に声をかけてください。

作成者 : さくやん (佐久間隆幸)

メールアドレス : sakuyanmail★gmail.com
(★を@に変えてください)

メールマガジン : アフィリエイト実践道☆1日2時間のリアル戦記☆
<http://taka-afiri.xsrv.jp/acmailler3/form.com>